

定点観測によるエゾシカの行動調査実施結果(釧路自然環境事務所)

以下の3地点において、湿原を見下ろせる高台からインターバルカメラによる定時撮影を行った。また定時撮影の結果から、多くのシカが湿原内を利用する時間帯における目視定時観測を行い、シカの行動等について調査した。



インターバルカメラによる定点観測実施日

	細岡展望台地域		コッタロ展望台地域		温根内地域
	細岡展望台	細岡下	コッタロ展望台	コッタロ下	温根内地域
開始	2月19日	3月1日	3月2日	2月20日	2月26日
終了	3月1日	3月7日	3月12日	2月25日	3月7日
観測日数	8	7	8	6	10

目視による定点観測実施日

	細岡展望台地域	コッタロ展望台地域	温根内地域
実施日	3月19日	3月21日	3月22日

インターバルカメラによるエゾシカ定時撮影実施結果

細岡展望台地域



細岡展望台近辺の地点で撮影された画像。画面中央に2頭のエゾシカが確認できる。

コッタロ展望台地域

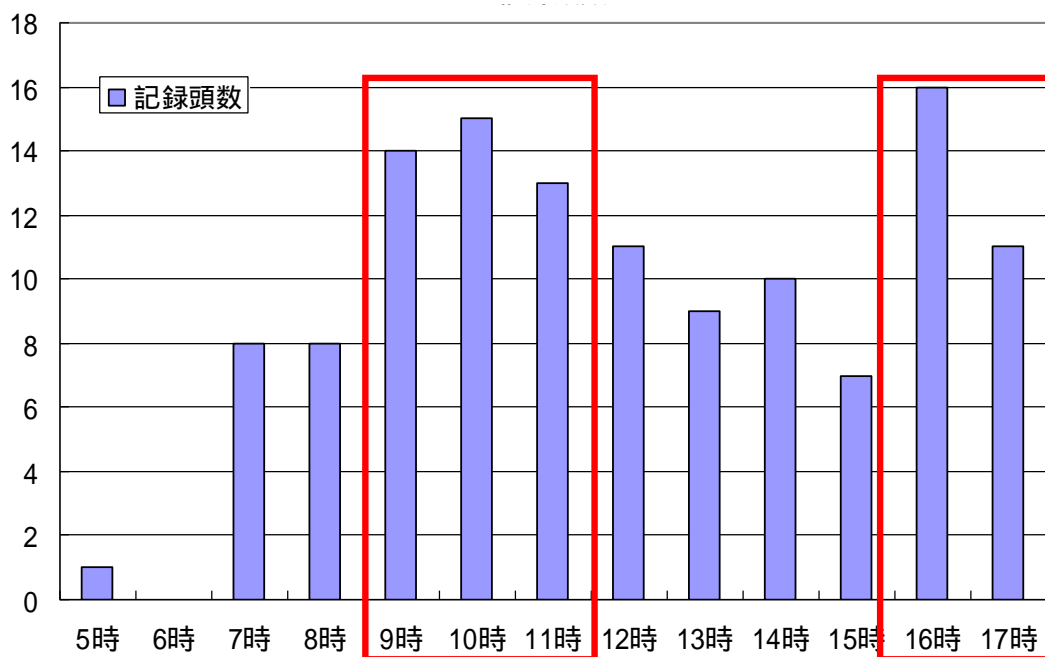


1頭のエゾシカが右方向から左に向けて移動してくる様子が記録されている。

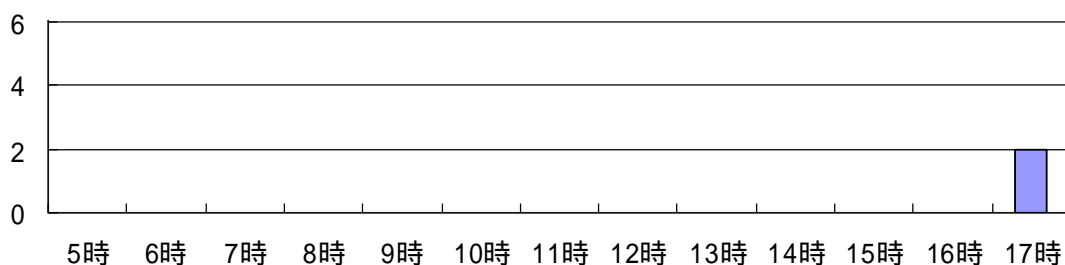
温根内地域



湿原までの距離が非常に遠かったこと、シカの利用が少ないものと思われ、双眼鏡を用いてもシカの姿はほとんど確認されなかった。



細岡展望台地域におけるインターバルカメラ記録頭数



コッタロ展望台地域におけるインターバルカメラ記録頭数

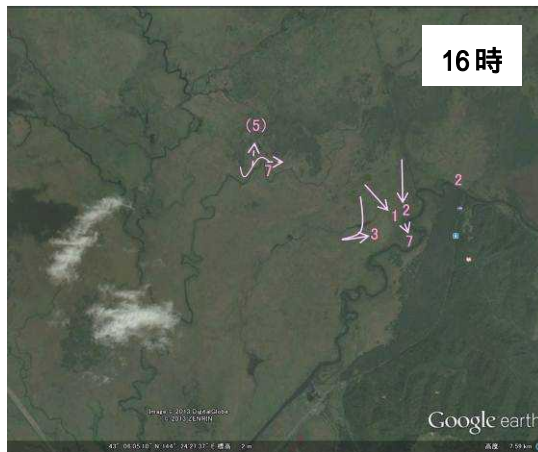
温根内地域ではインターバルカメラでの確認なし

調査員による定点観測結果

細岡展望台地域でのインターバルカメラ調査結果から、最大値となった16時の前後の時間帯において、目視での行動調査をおこなった。

細岡展望台地域

	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台
3月19日	5	22	22	27	17



()の確認個体数は、定時観察間に発見、ロストした個体である。

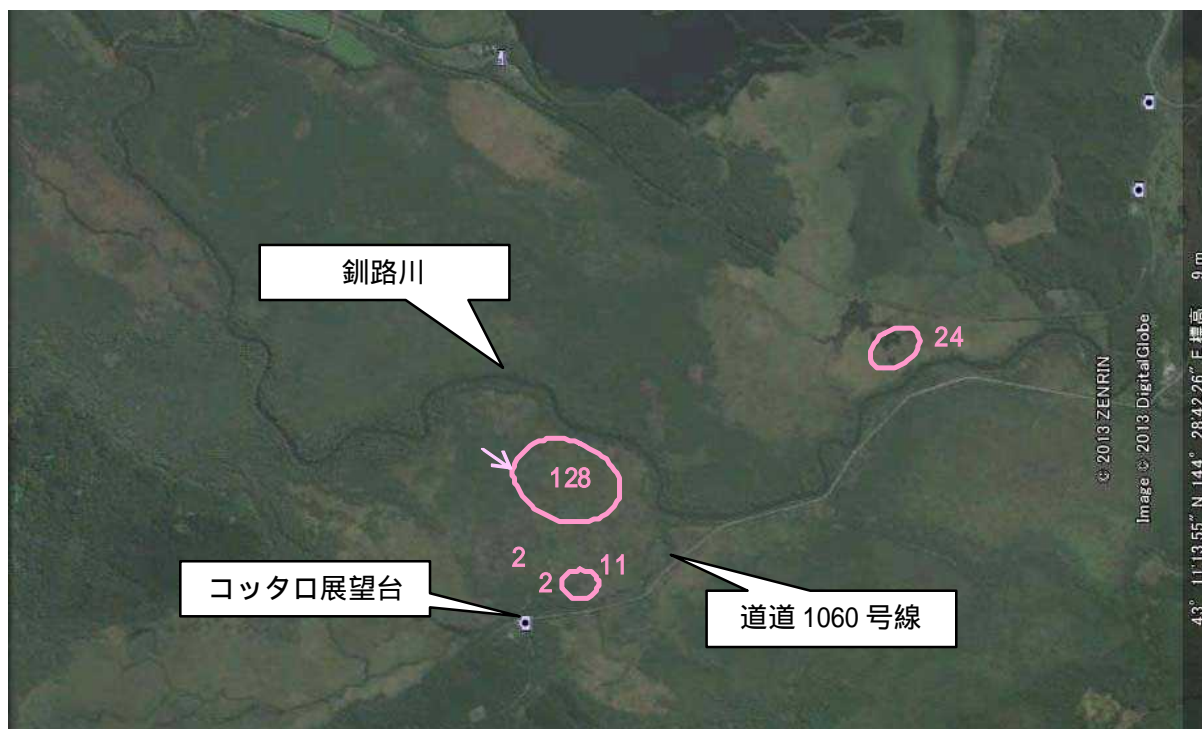
点線の矢印は定時観察、矢印方向へロストした個体である。

- ・湿原中央部にはあまりシカが見られず、大部分が釧路川右岸に滞留していた。
- ・釧路川右岸の群れは、夕刻に達古武湖方面に移動する様子が見られた。

コッタ口展望台地域

	14 時台	15 時台	16 時台	17 時台	18 時台
3月21日	60	115	167	132	85

観察時間 16時

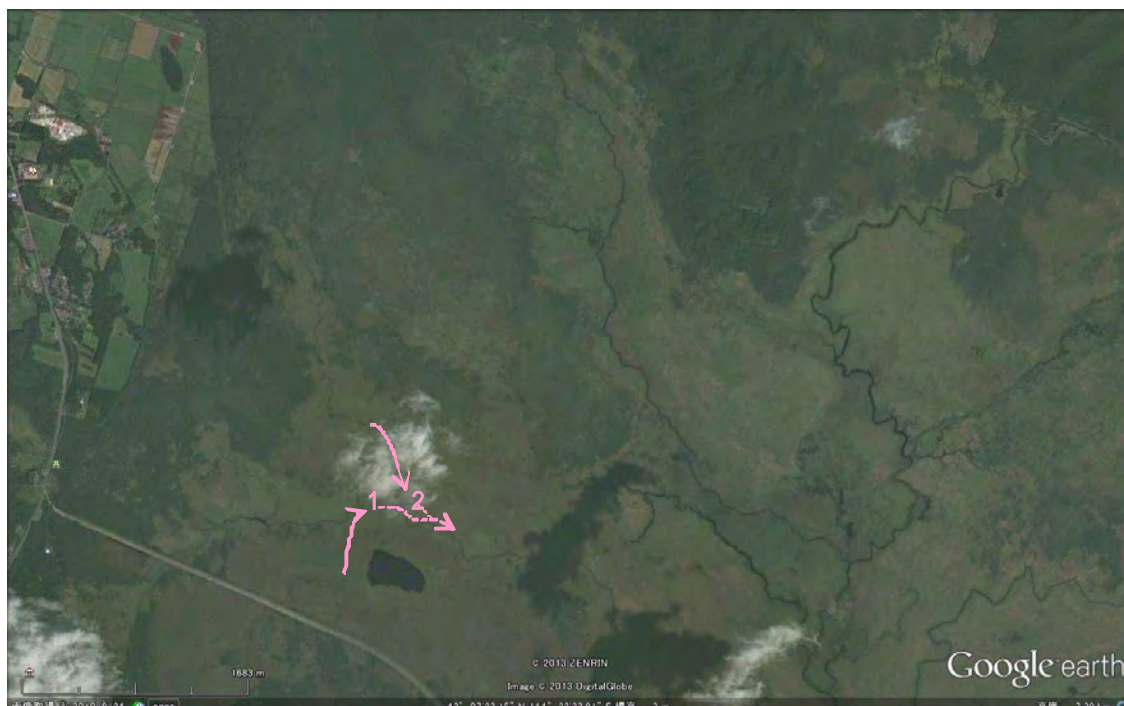


- ・シカは基本的にハンノキ林の中で滞留しており、どこかに移動するというよりはこの場所で休憩し、この場所で採食しという動きを繰り返しているようであった。

温根内地域

	14 時台	15 時台	16 時台	17 時台	18 時台
3 月 22 日	0	3	0	0	0

観察時間 15 時 (14、16～18 時は確認無し)



() の確認個体数は、定時観察間に発見、ロストした個体である。
点線の矢印は定時観察、矢印方向へロストした個体である。

- ・他 2 地域と比較して明らかにシカの数が少ない。
- ・15 時に 3 頭が確認されたのみだったが、これらは赤沼周辺から湿原中央部方向に移動した。

まとめ

- ・湿原内部を利用する個体数のピークは 10 時前後と 16 時前後だった。
- ・湿原内部を利用するシカは、湿原の周縁部に移動するものと、湿原内のハンノキ林内に留まるものの 2 パターンが観察された。